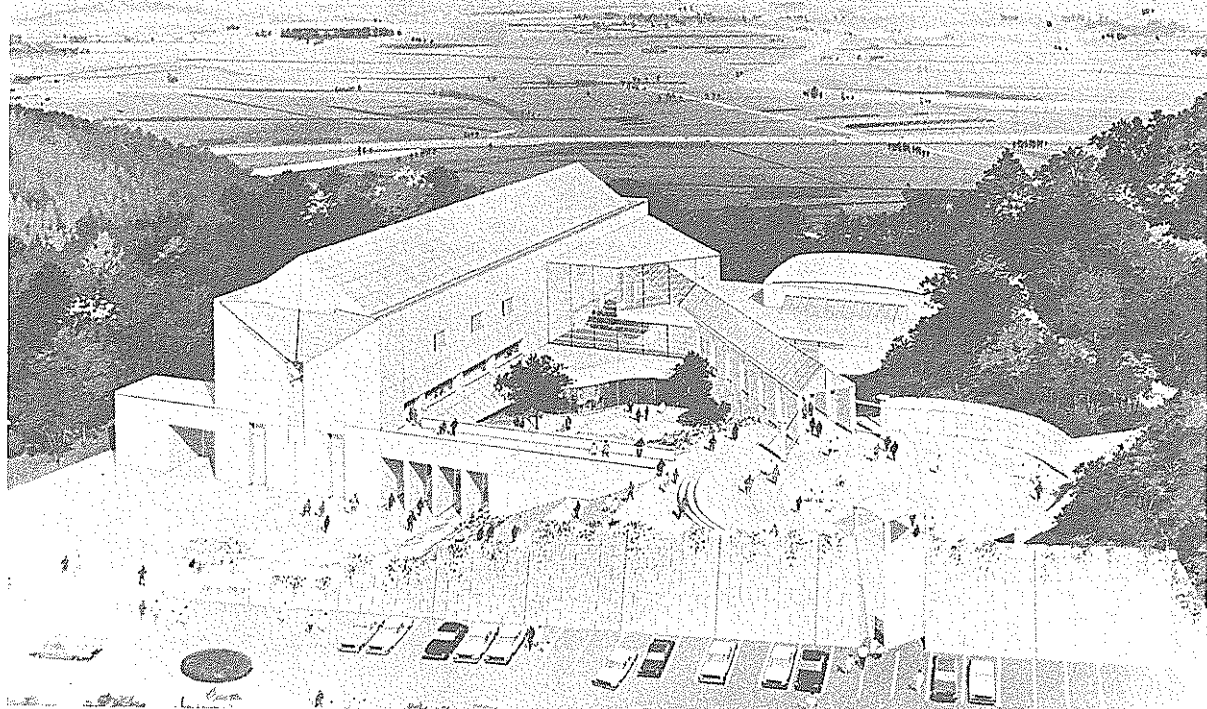


歴史民俗資料館

66年度オープンを目指して



▲完成予想図



10月17日には中内知事をはじめ、関係者約50人が参加して建設予定地で安全祈願祭が開かれた

高知県立歴史民俗資料館の造成工事が、六十六年度春のオープンを目指し、このほど岡豊山頂上付近の旧レストラン跡地で始まりました。

この資料館は、地下一階、地上二階建て、敷地面積約九千平方メートル、延べ床面積四千五百平方メートル。歴史、考古、民俗の各分野にわたる貴重な文化遺産の散逸を防ぎ、資料を通じて郷土の歴史を理解し、知識を深めるための郷土史学習の場にと県がかねてから計画を進めていたものです。

地下一階は企画展示室。地上一階は民俗資料の常設展示室、二階は総合的な常設展示室として埋蔵

文化財や歴史資料などを展示することにしており、田村遺跡の水田址や長宗我部氏関係の資料なども展示される予定です。また、この資料館では資料の調査研究を行い、収集保管するほか、出版物の刊行、講演会、研究会の開催など豊富な教育活動を行い、県下の資料館のセンターとしての役割を果たすこととなります。

岡豊城跡も整備し、城跡と資料館が相互に生かされるようにし、周囲の自然環境と調和した魅力ある歴史公園として整備、「国民休暇県構想」の推進の上にも役立てていく計画です。

各階の概要

	面積(㎡)	内 容
地下1階	1873.96	搬入口、荷解、一時保管室、収蔵庫(民俗、考古、歴史)、企画展示室
地上1階	1414.11	事務室、館長、応接室、会議室、休憩室、研究室、図書資料室、エントランス・ホール、常設展示室、控室
2階	1131.65	常設展示室(総合)